

## 「坊津学園の久志太鼓踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	南さつま市立坊津学園
2. 学年・人数	2年生：1人，6年生：3人，8年生：1人，9年生：3人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年8月4日（月）～14日（木）までの平日 久志地区公民館（旧久志小学校） (2) 発表の日時・場所 令和7年8月15日（金） 仁田川公民館，九玉神社，他集落内
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能，伝統 行事，伝統工芸 品について	(1) 名 称 久志太鼓踊り（盆踊り）【くしたいこおどり（ぼんおどり）】 (2) 由 来（諸説ある） 今から約600年前に，伊作島津家4代城主の島津久義が田布施郷牟礼ヶ 城の城主二階堂行貞を攻め降ろした時の戦略にヒントを得て編み出された 戦勝の踊りと伝えられている。その後，伊作島津家10代の島津忠良（日新 公）が加世田の別府城を攻め落とした時以来，この太鼓踊りを諏訪神社（現 在の南方神社）に奉納したことが由来となっている。 (3) 構成等 盆に坊津町久志の九玉神社に奉納したあと，久志の各集落を回って踊 る。「盆踊り」とも呼ばれるが，踊り子以外の集落民は踊りには参加せず， 観客となる。鉦1人（頭鉦・平鉦），入鼓1人，大太鼓20人ほどで構成。 鉦2人は，振袖に花笠を被る。小太鼓は陣羽織に花笠姿，大太鼓は白衣姿 に，手拭を縫い込んだ笠を被り，背中には山鳥の羽根を付けている。太鼓 は，肩から腹の下に垂直に吊るす（太鼓の位置が低い）。隊形は鉦・入鼓の 3人が内側に，大太鼓が外側に，二重の円陣を構成する。途中，大太鼓の 1人が中の円陣に打ち込む見せ場がある。その場面では内側の輪が4人構 成になる。歌い手は円陣の外から歌う。大太鼓の桴は桐製で，長さ約20cm。 太鼓はほとんど叩かず，擦りながら踊る。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	○ 太鼓踊りを継承していくために，地域の「久志区振興会」，「芸能保存委 員会」と連携・協力し，地域の方々を指導者として，久志地区に在住の小・ 中学生を中心に踊り子として継承している。また，卒業生への声掛けや名 簿の作成など，伝承していける体制を整えている。
6. 取組の様子 （練習状況，発 表の場等）	   <p>練習の様子                      集落内を練り歩く様子                      九玉神社に奉納する様子</p>
7. 感想・意見 （参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等）	○ 太鼓踊り3年目にして，初めて中央で踊る「頭太鼓（かしたでこ）」を務 めました。中央で1人で踊る際，3回回転するととても疲れしました。「もう 一回回れ」と言われたときはとてもきつかったけれど，最後にやりきった ときは達成感でいっぱいでした。来年はもっと体力をつけて，一回でも多 く回れるようになりたいです。